平成２２年度 上春別中だより《第 ２号》

みずなら

<発行責任者>
校長 亀井彰美
(４月２６日 発行)

指　標：『明日の自分のために今日頑張れる人』

＜ 教 育 目 標 ＞
知性を磨き　心豊かに逞しく

＜ 校　　訓 ＞
自主　実践　協調

＜ め ざ す 生 徒 像 ＞
自ら感じ　考え　行動する生徒

『がむしゃら！メリハリ！基本的生活リズムの確立を』

校長　亀井彰美

４月もまもなく終わろうとしています。１年生は中学校生活のリズムをつかむことができたでしょうか？授業は小学校のときと違い、授業ごとに教科の先生が入れ替わり、はじめは面食らったことと思います。そして、勉強が難しくなったり、教科の課題が多く、学習に対する厳しさに押しつぶされそうになっていませんか？

それは、１年生が誰しも通る道なのですが、その道の途中で楽をする方法を見つけたり、いろいろなことを後回しにすることに慣れていると、気がついたとき仲間はずっと遠くに進んでいってしまい、追いつけないことで努力をすること自体をあきらめてしまったりすることがあります。それこそ後の祭りということになりかねません。

この時期もっとも大切なことは、**「がむしゃら」**です。何をやっても遅いことは仕方のないことです。でも、その日にやらなければならないことはなんとしてもやり遂げる、そんな**がむしゃらさ**が必要です。**がむしゃら**に取り組んでいる中で物事に対する処理の速さや要領を学びます。そのことはきっと、今年の指標**「明日の自分のために今日頑張れる人」**に通じ、子供たちの財産となるはずです。

とは言え、頑張りすぎて、体調を崩しても本末転倒です。休むときにはしっかり休み、いつもベストのコンディションで活動に臨むことが必要です。生活の中に**「メリハリ」**を意識することで、生活にリズムが作り出されます。４月と５月は、自分の生活を新しい環境に対応していくために**「メリハリ」**を意識して作り変えていかなければなりません。

より楽しく、有意義な中学校生活が送れるように、これまでの生活を見直し、**「メリハリ」**を意識して変えてみてください。５月は３年生の修学旅行が予定されています。しっかりと体調を整えて、楽しい旅行にして欲しいと思います。

新入生歓迎集会

新入生歓迎集会が４月１２日（月）に行われました。３名の１年生を迎えるために、６名の２・３年生が春休みから準備を進めていました。

この日、長尾生徒会長から挨拶のあと、１年生が中学校に入学しての一人ひとりの決意や感想を、マイクを持って発表しました。

その後、２・３年生の発表がありましたが、全員によるダンス・バンド演奏、３名の生徒会役員が中心となったダンスを披露しました。

どの発表も先輩としての意気込みを感じることができ、とても良い発表だったと思います。２・３年生全員で踊ったダンスは、女子が中心と

なり、結構激しい動きでとても楽しそうでした。バンド演奏の発表は、細谷君と長尾さんがボーカルを勤め、美声を披露してくれました。

その後、生徒会からの発表があり、これもまた３名のダンス。衣装にも凝っており、とても良い雰囲気でした。

最後は部活動の紹介で陸上、バドミントンの順で自分たちの部活動を紹介しました。

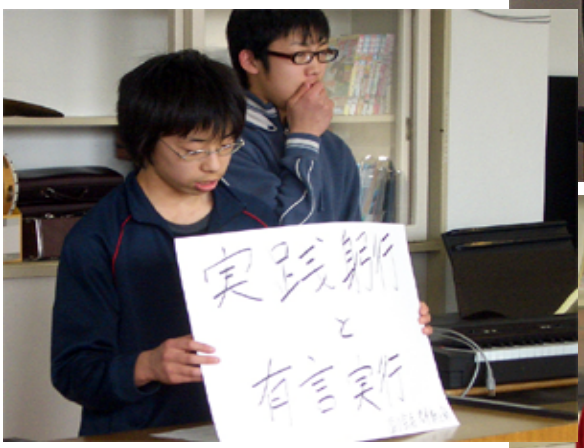
１年生にとっても楽しい歓迎集会だったのでは、と思います。

出ずっぱりの２・３年生の皆さん、ご苦労様でした。

前期生徒会選挙

前期生徒会選挙が１６日（金）に行われました。生徒数減少で会長１名、副会長１名、書記１名の３名の告示がなされ、会長に細谷君、副会長に若木君、書記に北浦さんが立候補しました。他の立候補者がいなかったため、３名がそのまま当選となり、立会演説会はその場で決意表明の演説会となりました。

初めにそれぞれの責任者が推薦の弁を述べた後、当選者が自分の公約を掲げ、生徒会に対する思いを話してくれました。



会長に当選した細谷君は「臨機応変」をキャッチフレーズとして、自分から学校の中で課題を見つけ、それに対して臨機応変に活動していくと語りました。副会長に当選した若木君は、有言実行。副会長として、会長を助け、頑張りたいと話しました。そして、北浦さんは全力疾走して、書記という仕事に取り組みたいと話しました。期待感いっぱいの新執行部です。どんな活動をしてくれるか楽しみです。